

平成25年5月29日

利用学習計画書

仙台市立七郷小学校
担当 第5学年 村上 博基

1 ねらい

- ・縄文の森広場の見学を通して、縄文時代の人々の生活の様子を調べ、当時の暮らしや社会の様子についての理解を深める
- ・勾玉づくりの活動を通して、縄文時代の人々の知恵を学び、道具の発達と文化の発達に興味・関心をもつ

2 評価

- ・縄文の森広場の見学を通して、縄文時代の人々の暮らしや社会の様子について理解を深めることができたか
- ・体験活動を通して、道具の発達と縄文時代の文化の発展に興味・関心をもつことができたか

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」

縄文時代の人々の生活や社会の様子を調べさせ、集落の様子や建物、当時の食料などを後の時代と比較させ、縄文時代の特徴を理解させる

4 事前指導

- ・縄文時代の生活について、社会科の学習を通して指導し、質問や疑問点をまとめる
- ・校外学習のねらいや見学施設等の概要、日程、留意点等についての説明を行う

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学

全体で館職員の説明を聞きながら学習〈探検シート利用有〉

（2）体験学習

勾玉作り

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

感想の記述、新聞の作成と掲示

平成25年6月24日

利用学習報告書

仙台市立七郷小学校

担当 村上 博基

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年6月12日(水)～14日(金)

(2) 主な内容

社会科の授業で感想の記入を行った。

2 送付する資料

児童の学習後の感想(5名分)

学習メモ(分かったことや気付いたこと、新しい疑問などをメモしておきましょう。)

・大きい物や小さい物もある。

句五

・まどが広い

・なぜ“おまもり”の形が
うがうのか分かった。

・温度変化が大きい

・最後のしあいの時のやりとりは

・シナモンやカレーみたいなドミカとして
ものを作っていた。

・縄文時代のとては何で、
いたうか知りたい。

ちゅう

感想

教科書にはかいていないこともわかったし、

句五の作り方を少しわかった。

縄文時代の人のくらしを再現されていてわかりやすかった。

たて穴住居は中がくらくてメモをとるときにたいへんだった。

中がすずしく感じて夏るときにそこですごしたらすずしく、

かいてみよう。



※このしおりは、6月12日(水)までに記入し、担任の先生に提出しましょう。

学習メモ(分かったことや気付いたこと、新しい疑問などをメモしておきましょう。)

勾玉のつくり方 ① かどとけする。 ② だいたいの形をつくる

③ かどをまかくする ④ つぎのやすりできずをとる

⑤ ニスをぬり、ひもをとおして出来上り

30件ほどあった。広い 暗い → 電気がない、窓がない

暗いのはあたりまえ ずい → 温度の差が大きい。冬は外より

あたたかい。汁を食べていた。毎日火をたいて食べていたので

じわじわしていたのかやからとっていた。くさい → 火をたいていぶかれたの

ロヤ木にしみて、くさい

縄文時代の学習はしていたけど、本当のたて穴住
居に入ると学習では感じられないことや、と新しいこと
を知れたのていい体験でした。勾玉を作って縄人を
味わい、どうい生活をしていたのか見たゾさめたり
して縄文のことをよく知ることが出来て良かったです。
たんけんノトで自分たちで探しながら問題をとくことが出来る

※このしおりは、6月12日(水)までに記入し、担任の先生に提出しましょう。

縄文
のことや
わが国
の良い
体験
だ。

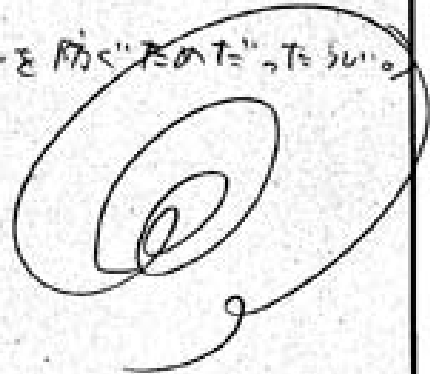
楽しめたです

学習メモ(分かったことや気付いたこと、新しい疑問などをメモしておきましょう。)

・鳥や魚などを天井の木でつっている。
(ついで)

・たて穴住居を昔に近ずけるように、たて穴住居の中
で、火をたいていた。

(火をたいていたのは、かびなどを防ぐためだったらしい。)



感想

ハナちゃんの家を見たら、そのときの様子が良く分か
て、~~木の突も、も、かり土器に入っていたし、天井~~
には、鳥(ついで)や魚がつるされていたし、お父さんお母
さんのしているところも、すぐ表現されていたので
本当に、本物を見ている気分でした。
(生活している)



※このしおりは、6月12日(水)までに記入し、担任の先生に提出しましょう。

学習メモ(分かったことや気付いたこと、新しい疑問などをメモしておきましょう。)

○山田上ノ台遺跡

- やじり、せきすい、いしさじ、うていけい石器、いしべら、だ
せいせきう、ませいせきう、すりいし、石皿、けつじらみみか
ざり、せきはう、どくう、せきとう、などが見つかた。
- 墓とし穴の遺類をいちはりあつた。
- 縄文人は、土器でいろいろなものを作った。工夫が得
てきた。

火をたいて、家の中に虫がこなうようにく
ささないようにしていた。何人住んでいた
かは分からない。縄文人は、いり
るな木の実を食べていた。

その他
ツバメの巣
かき、ひよ
ろ、アヒル、あ
い、うた。

生動物、ミツバチ、ツバメ、

植物、たんぽぽ、しろつばな、

ツバネ、クローバー

感想

まが五羽、たて穴式住居に入ること、縄文人に近づけた
と思います。縄文がなければ、今のほくは、ないと思
います。今回の経験を大切にしていきたいです。



※このしおりは、6月12日(水)までに記入し、担任の先生に提出しましょう。

学習メモ(分かったことや気付いたこと、新しい疑問などをメモしておきましょう。)

山田ゴノロ 遺跡 4000年前

大穴を掘りつづける石を石皿という



こまごまの

むかしがあたり 前よりリアル

縄文の人たちは オビヤンバヤド、フリヤトキヤフリヤカヤアデ

... 〇 〇 〇 〇

持ち歩く万能ナイフ



いかに広い

39人が全員はいる

たて穴じやうきよはくりの木でつくられてる

ふとし穴はあついでつくさる

ムツヤツキでつくさる



感想

私は縄文の森に来て、縄文時代の人たちの時代に
何を食べて生きていたのか、どんな物でかりをしてい
たのかなどといろいろなことを知ることができたの
でよかったです。(4)

※このしおりは、6月12日(水)までに記入し、担任の先生に提出しましょう。